

事業所名

ああるまつりか草加

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

7 月

23 日

法人（事業所）理念		いっぱい遊んでいっぱい笑ってお家に帰ってぐっすり眠る。眠りについたら子どもが笑顔だったら家族もみんな笑顔になれる。まつりかから笑顔を発信します。		
支援方針		主に公園活動での体力向上をめざします。室内では作業療法などで微細運動や協調運動を促進し、日常生活における基本的動作の獲得や、将来に進む道の幅を広げていきます。職員や幅広い年齢層の児童との活動で、療育を通じて人と関わることの楽しさを感じられる環境を作っていきます。		
営業時間		10時00分から19時00分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルを身につける。また、体力の向上を目指す。 ・公園や歩行訓練での戸外活動・手作り昼食を通して食育・自分で着衣をする・フォークやスプーンからお箸に切り替える・座って食事をする		
	運動・感覚	姿勢や筋力の向上、体幹強化。保有する感覚の総合的な活用、感覚の特性への対応。 ・公園や歩行訓練での戸外活動・作業療法を用いた感覚刺激への対応・室内サーキット・リズム体操・室内ブランコ・トランポリン・ボルタリング		
	認知・行動	外部環境の適切な行動習得。認知の発達、形や色の習得。 ・歩行訓練を用いた交通ルールの習得・作業療法を用いた認知遊び・カラーボールの色分け・ペープサード・パネルシアター		
	言語 コミュニケーション	言語の受容及び表出、コミュニケーションの基本能力の向上。読み書きの能力の向上、文字への興味を持たせる。 ・絵カード、マカトンを用いた支援(発語がない児童)・言語の表出を促す支援(発語のある児童)・ひらがなプリントやひらがなカードを用いた学習		
	人間関係 社会性	集団への参加の練習。1人遊びから協同遊びへの支援、他児との関わる楽しさを学ぶ。 ・プログラムに必ず1つ集団活動を取り組む・職員を介した他者との関わり・集団活動でのルール・順番		
家族支援		みらいダイアリーや面談等で保護者の悩み事に寄り添い、いつも相談できる場所があるという安心感をもって子育てができるようサポートしていく	移行支援	児童のニーズに合わせ、他事業所や次のライフステージへの移行へ向けて移行支援をしていく
地域支援・地域連携		関係機関と情報共有しながら連携を図り、課題や支援の方向性など、児童の成長を包括的にサポートしていく	職員の質の向上	外部・内部の研修や事業所内でも勉強会を行い、専門的な知識を学び、児童の特性の理解を深め、支援の質の向上にあたる
主な行事等		毎月のお誕生日会、こどもの日製作、母の日・父の日製作、七夕製作、縁日イベント、プール活動、ハロウィンイベント、クリスマスイベント、お正月イベント、節分イベント、ひな祭りイベント、季節の壁面装飾製作等		